

自己評価報告書

平成 23 年 5 月 2 日現在

機関番号：30123

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2008～2012

課題番号：20520298

研究課題名(和文) 現代ロシア文化におけるスターリニズム表象とその起源

研究課題名(英文) Stalinism images and its origin in contemporary russian culture

研究代表者

岩本 和久 (IWAMOTO KAZUHISA)

稚内北星学園大学・情報メディア学部・教授

研究者番号：40289715

研究分野：ロシア東欧文学

科研費の分科・細目：文学・ヨーロッパ文学(英文学を除く)

キーワード：外国文学, ロシア, ソヴィエト

1. 研究計画の概要

本研究では、1960年代末から現在までの間にロシアでなされたスターリン時代を題材とする表象を分析し、その時代ごとの変化、及びソヴィエト文化と現代ロシア文化の継続性と差異を明らかにするものである。

分析の対象としては(1)反体制文学や歴史小説、及びポストモダニズム文学における「歴史変遷」、(2)最新の文学テキスト、(3)映画やドラマ、美術など視覚的表象を予定している。

2. 研究の進捗状況

2008-10年度にかけて、文献・視聴覚資料の収集と分析、道内の若手研究者を中心とした研究会の開催(3回)、作品の舞台についての現地調査(モスクワ、ペテルブルグ、チューリヒ)、視覚表象をめぐる美術館や博物館の調査(ペテルブルグ、ユジノサハリンスク、ニュージャージー州ブランズウィック)といった活動を行なった。

対象として設定した領域ごとの成果は以下の通りである。

(1)〔反体制文学、歴史小説〕特にアイト

マートフとソルジェニーツインの作品の特徴(民族意識や物語性)について分析を行ない、一部を日本ロシア文学会、『北海道新聞』、『図書新聞』で報告した。

また、ポストモダニズム文学やSFについて、特にソ連の歴史小説との比較を行ない、文学テキストの批評的機能の在り方を明らかにした。

研究会では「第2次世界大戦の表象」という主題が顕在化した。その在り方についての分析を上記の成果と併せ、論集『戦争と異世界』に収めた。

(2)〔最新の文学テキスト〕2008-10年度に発表されたロシア文学作品の分析も並行して行ない、新しい歴史小説のスタイルや、そこでスターリン時代と現代ロシアとの関係がいかに意識されているかを明らかにした。また、『図書新聞』や『文藝年鑑』にその一部を発表した。

(3)〔映画やドラマ、美術など視覚的表象〕研究会や美術館・博物館調査を通じ、映画やアニメ、アートや博物館展示についての研究を進めるための基礎的情報を確認した。また、現代ロシアの都市風景に見られるスターリ

ニズムの要素について、『情報誌の中のロシア』（東洋書店、2008年）で報告した。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

古い世代の作家については、特にソルジェニーツィンの後期作品に関して、膨大な量のテキストを調査することができた。また、最新のロシア文学や映画などの視覚表象についても、データの蓄積が順調に進んでいる。

4. 今後の研究の推進方策

(1)ソ連文学及びポストモダニズム文学については、20世紀後半のロシアを代表する作家アクショーノフを中心に研究を進める。

(2)最新の文学についてのデータの蓄積を続けながら、それをもとに21世紀初頭のロシア文学の在り方（過去の文学との連続性と断絶性）について、一定の総括を行なう。

(3)視覚表象についてはデータの蓄積をさらに重ね、文学作品との比較を行なう。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計2件）

①岩本和久，ロシア文学の現況と翻訳・研究'09，平成22年版文藝年鑑，90-92頁，2010年，査読無。

〔学会発表〕（計2件）

①岩本和久，ヴィクトル・ペレーヴィンと『収容所群島』，日本ロシア文学会第58回研究発表会，2008年10月11日，中京大学。

〔図書〕（計3件）

①岩本和久，前田しほ，佐藤亮太郎，宮風耕治，稚内北星学園大学，戦争と異世界—現代ロシア文学とスターリニズム，2011年，68+ii頁。

②岩本和久，東洋書店，フロイトとドストエフスキ—精神分析とロシア文化，2010年，232+ix頁。

③岩本和久，東洋書店，情報誌の中のロシア，2008年，63頁。

〔産業財産権〕

○出願状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ
<http://www.wakhok.ac.jp/~iwamoto/stalinism_ow/>